

2月の園だより

令和5年1月31日 発行
あしきた・まちのこども園

ひまわり組のある女の子は、いつもお外遊びやお散歩に行く時に、自分の靴を持って事務所の前を通ると、事務所のドアを少し開けて顔をちょこんと出し、「何してるの?」と声をかけてくれます。「お仕事してるのよ」と言うと、「そっかー」とか、「〇〇のママもお仕事よー」と言いながら出かけていきます。私たちもそのやりとりが密かな楽しみになっているのですが、その日は外部の方もいていつもより事務所の中が賑やかで、その女の子はいつものように顔をちょこんとだして、「何してるの?」と。でも次の瞬間、少し事務所を見回して、「あれー、お友達つれてきたの?」と言ったのです。「そうそうお友だち。」と返すと、「へー」と言っているように出かけていきました。いつもほんの数秒のきまったやりとりの繰り返しと思っていたのですが、ちゃんと観察しているのですよね。そして、今のこの年齢の時にしかできない可愛い表現でそれを伝えてくれる。私たちはそういう日々の何気ないやりとりの中で繰り返されることも達らしい世界を大切にできる保育者でいたいと思います。

『バカの壁』の著者、養老孟司さんが以前このような事を述べておられました。「幼稚園や保育園の子ども達は、園で何を考えて過ごしていると思いますか?彼らはただお母さんやお父さんがお迎えにくることを楽しみに過ごしているのです。」と。私たち保育者からすると少し残念な気持ちにもなりかねないお話ですが、私はその言葉がとても好きです。だって、それってとっても幸せな事に思えるから。そんなお父さんお母さんのお迎えを待ちわびながら過ごしている時間を、私たち保育者はこどもたちとめいっぱい心を寄せて、何気ない日常の中に実はいっぱい散りばめられているキラキラを大切にしていきたいと思います。

園で過ごす子どもたちの毎日はそれぞれです。家庭のような環境の中で保育者としっかりと愛着関係を築き、安心して過ごせる世界を少しずつ広げていくこども達。そこから、自分の好きややりたいことに熱中して、遊びを発展させて学びを深めていくこども達。今回の『こどものしあさって』展では、作品を通してそんなこどもたちの何気なくも愛おしい日々を保育者の思いも込めて直接お伝えできていればよいのですが。初めての試み。保護者さんの声や保育者の反省を通して、これからも試行錯誤しながら、こども達の日々を寄り添っていききたいと思います。

2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 節分	4
5 	6	7 キッズヨガ	8 英語教室	9	10 交通安全教室	11  建国記念の日
12 	13	14	15 火災訓練	16 リトミック	17	18
19 	20	21 運動遊び 身体測定	22	23  天皇誕生日	24	25
26 	27	28 歌唱指導				

2月生まれのおともだち

7日: I・Tくん (4歳) 8日: K・Kさん (3歳)
15日: S・Aさん (4歳) 21日: H・Mさん (5歳)
10日: T・A先生